

■ジーアンドエスエンジニアリング 創立50周年。「国を守り国を創る」街づくり追求

2023年1月に創立50周年を迎えた建設コンサルタントのジーアンドエスエンジニアリング（福岡市）は、これを第二の創業期と位置付け、従来の枠組みにとらわれず、技術革新にチャレンジすることで未来を切り開いていく決意を新たにしている。児玉和久社長は、若いパワーとベテランの技術者の持つ経験やノウハウの継承で、新生G&Sを作り上げていく方針だ。



児玉 和久
ジーアンドエスエンジニアリング社長

地場トップクラスの実績 10年連続で優良工事表彰

同社は1973年に創業し、今年1月に50周年を迎えた。主に道路や橋梁、河川、上下水道など、暮らしを支える社会インフラについて、官庁や地方自治体の技術パートナーとして、打ち合わせから調査、企画、設計、管理、点検までを手がける建設コンサルタントである。九州・関東圏に営業地盤を展開し、年間200件を超えるさまざまなプロジェクトを受注するなど、圧倒的な受注力と実績は、地場トップクラスを誇る。

駅、城野駅）など、時代変化に対応する新しい街づくりの先導役を担っている。こうした創業から培った信頼の技術は発注機関から高い評価を受けており、東京都建設局・各事務所からは「優良工事等表彰」を10年連続受賞（2012～2021年度）している。22年度は「R3下館管内上流築堤護岸詳細設計業務」「土木（道路）部門」「優秀技術者土木（道路）部門」で国土交通省関東地方整備局事務所表彰を受けた。また、「令和2・3年度国道497号西九州自動車道橋梁点検外業務」「優良業務担当技術者特別賞」の九州地方整備局長表彰も受賞した。

「国を守り国を創る」の言葉にあるように、夢のある豊かな社会の実現に貢献し、子どもたちに誇れる未来の街づくりにチャレンジしていく」と力を込める。



山王公園地下調整池（福岡市）

ているが、「営業活動しながらにあらゆるところに採用の網を広げて頑張っている」とし、理系人材に限定せず、文系であっても採用し、技術者として育てていく方針だ。

近年、技術系の学生が著しく減少傾向にあり、将来、日本の技術力を維持していけるのか危機感を募らせている。児玉社長は「常に新たな技術を求めていくような人材を確保して技術者の育成に努めていくことは、企業の存続もそうだが、建設コンサル業界としても重要な課題だ」と話す。ドローン測量や3Dレーザースキャナ計測など時代変化とともに技術は進化しており、技術者育成もスピード感が必要になる。「九州でも災害

が頻発しており、その意味でも九州の地元に着目した技術者を育てることは弊社の使命の一つ（同）としている。

同社では、入社1～3年の若手技術者を対象に、携わった業務

仕事はチーム制を重視で 若手育成に社長が先頭

務内容について発表する場を設けるなど、入社後の教育環境の整備にも努めている。また、働き方改革にも対応するため、仕事はなるべくチームで進める方針をとっており、上司と二緒になってチームワーク重視にシフトしている。建設コンサルでは従来はプロジェクトの主担当が決まると単独で仕事を進めていたが、これを改め「若手を技術者として一人前にするために徹底的に自らが先頭に立つて取り組んでいる」（児玉社長）とし、プロジェクトの規模によつて異なるが多くの場合は若手を含め4、5人で担当するケースもある。さらに、ヒアリングやミーティングを重ねることによつて、ミスを減らすことにもつながっているという。

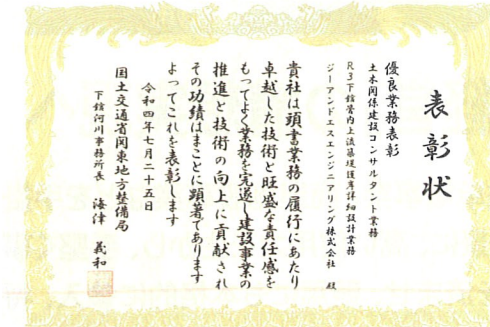
一方、建設コンサルタントは、技



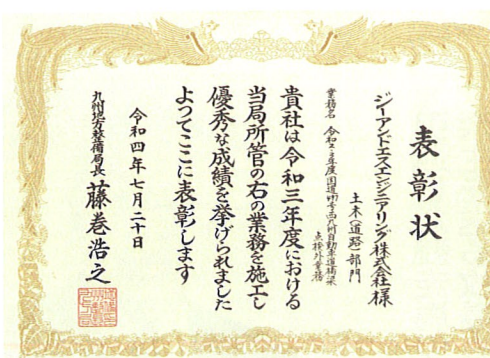
創立50周年を記念して制作したロゴマーク

術面も必要だが、人と人とのコミュニケーション能力も求められている。建設コンサルは官公庁・地方自治体への技術提案力がカギを握っており、行政から相談されることとが年々多くなっている。児玉社長は「その意味で技術者もサービスマンの側面がある。行政関係者から安心して相談されるようにならないといけない」と話す。併せて、同社はある分野に精通したスペシャリストではなく、複数の部門の資格にもチャレンジすること奨励し、1人で複数の業務ができる能力を持った万能型の専門人材の育成に取り組んでいる。現在、技術士や技術士補、総合技術監理、RCM、1級、2級土木施工管理技士、測量士、測量士補、2級建築士、道路橋点検士、農業水利施設機能総合診断士などの資格を持った社員がいる。建設コンサル業界では珍しい取り組みだが、官公庁・地方自治体への技術提案力が求められており、街づくりという総合的な視点でとらえる必要があるためだ。

児玉社長は「企業に人材を残すことが私の使命」として、若手人材の育成に今後も注力していく考えだ。



表彰状



表彰状

東京都建設局・各事務所から「優良工事表彰」を10年連続受賞。九州地方整備局局長賞も受賞した